

### 健友ネット集會 発表交流会報告

## 介護リフトについて

千秋病院 リハビリテーション科  
理学療法士 川原 千明

近年高齢化が進んでおり、介護が身近になっていく方も多いのではないかと感じています。

介護者の負担を減らし、介護者の身の負担が増えていることが問題視されています。

ベッドから車いすへの  
移乗方法



介護者の負担を減らすにはさまざまな対処法があります。今回は介護リフトについて紹介いたします。

介護リフトは移乗（ベッドから椅子の乗り移りなど）をサポートする福祉用具のことです。利用者の体を機械で吊り上げることで、介護者の負担を減らすことができます。

介護リフトの導入は介護者の負担軽減だけでなく、利用者の安全確保や日常生活をより充実させることにつながることができると考えます。介護者の方は一人で抱え込まず、まずはケアマネジャーや地域包括支援センターなどへ相談することから始めてみてはいかがでしょうか。

### 認知症とともに生きる

#### 〜自分と大切な人のために 認知症を知ろう〜

地域包括支援センターあきでは、認知症と診



断された本人・家族が集う場「みのりあるあきの会」（原則、毎月第4土曜日に開催）を支援しています。1月25日には、みのりあるあきの会あきの会参加

者・支援者と一緒に、認知症普及啓発講演会を開催しました。認知症の正しい知識と理解を持つことで不安に對し、必要以上の恐れや偏見をなくす一助として「認知症を知ろう」として考えるきっかけとして「会を通して仲間を増やしたい」との思いからです。

当日は48名が参加がしました。アンケートでは、「認知症の方への接し方の参考のため」「認知症に関心がある」「認知症学習のために参加した」との声が多くありました。また、「当事者の話

### ボランティア講座 参加者募集

#### 「もの忘れ外来」について

「もの忘れ外来」ってどんなところ？ どんな時に受診すればいいの？ 家族が気を付けておくことは？ など、千秋病院「もの忘れ外来」の看護師さんに何でも聞いてみましょう。

- 日時 3月15日（土）14:00~16:00
  - 場所 千秋病院 市民健康教室
  - 講師 千秋病院 もの忘れ外来 看護師
  - 参加費 無料
  - 主催 ボランティア委員会
- ボランティア活動に興味がある方もお気軽にお声をかけてください。
- ◎問い合わせ  
尾張健康友会本部 ☎0586-76-8312  
(担当：谷口)

が聞けてよかった」「心に響くものがあつた」「貴重な機会となつた」「認知症の知識が少し増えた」などの感想が寄せられました。

会の最後は認知症予防の手遊びをしたり、歌を唄ったりほっこりした時間を共有することができました。認知症について各々が自分ごととして考えるきっかけとなつたと思います。

ケアマネジャー 小串 美樹

## 知って おきたい 医療知識と健康生活習慣

### 糖尿病の治療について

千秋病院  
内分泌・代謝外来

内科 山田 ゆうひ

糖尿病の治療は食事＋運動療法が基本です。それらに加えて薬物療法が加わります。糖尿病の薬は近年種類が増えており、経口血糖降下薬、注射にもさまざまなものがあります。

### 主治医にご相談を

今回は「インクレチン」に関連する比較的新

しい薬剤を紹介いたします。インクレチンとは、食事を摂取すると消化管から分泌され、膵臓に作用してインスリン分泌を促進するホルモンです。

インクレチンにはGLP-1とGIPがあります。それらに作用する薬剤として「DPP-4阻害薬」「GLP-1受容体作動薬」「持続性GI

P/GLT-1受容体作動薬」があります。〈表〉これらのインクレチン製剤の良い点として、血糖値の高いときのみ作用するので、単独では低血糖は起こりにくいといわれています。なお、GLP-1受容体作動薬、持続性GIP/GLT-1受容体作動薬は、吐き気や下痢などの胃腸障害が生じることがあるので注意が必要です。

ただ、GLP-1受容体作動薬、持続性GIP/GLT-1受容体作動薬の注射も糖尿病治療に加わっています。GLP-1受容体作動薬は毎日注射するものもあります。週に1回注射するものもあり、患者さんの負担が少ないという点もあります。

糖尿病治療にはさまざまな選択肢がありますので、病状や生活環境と併

せて主治医にご相談ください。

### インクレチン製剤

GLP-1 受容体作動薬	DDP-4による分解を受けにくくしたGLP-1のアナログ製剤で、長期間GLP-1の働きが続きます。
持続性GIP/GLT-1 受容体作動薬	GIP、GLT-1 受容体に結合して働きます。
DDP-4 阻害薬	GLP-1を分解するDDP-4の作用を妨げ、GLP-1の濃度を増やし、インスリンの分泌を促進して血糖を下げます。

## 認知症介護者から 思い、悩みを聞く

一宮市地域包括支援センターまちなかは、認知症介護者個別相談会を1月29日、担当地区内にある通所介護事業所の個室で開催しました。

介護者からの「本人ができないことが多くなっ



また、一人の参加者は「本人がやったことに対して『ありがとう』と伝えているが、これだけでいいか」と聞かれ、専門職から「大丈夫ですよ。その対応でよいですよ」と励ましと後押しがあり、

できています。できることを声かけしているが、これでよいのか分からなくなつた」という悩みに対し、専門職から「本人のできることを奪わずに本人ができることを奪わずに本人ができてもらうことを見つけて声をかけている」とは素敵な対応ですね」と話しました。

次回6月頃に開催予定です。一宮市在住の介護者の方も対象です。あなたも介護の悩みを話してみませんか？ 気軽にお問い合わせください。ご参加をお待ちしています。

社会福祉士 上原 麻希